

教科・科目	福祉・生活支援技術	単位数	2 単位
対象学科・学年	普通科福祉コース・2年		
使用教科書・副教材	生活支援技術(実教出版)・介護職員初任者研修テキスト(学研アカデミー)		

1 教科目標

福祉の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。(2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。(3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 科目目標

福祉の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

3 評価の観点の趣旨からみた科目の目標と評定への総括における配点

	a 「知識・技能」	b 「思考・判断・表現」	c 「主体的に学習に取り組む態度」
目標	自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
配点	35点	35点	30点

4 指導及び評価計画

月	単元		単元ごとの到達目標	指導方法及び評価方法	時間	評価計画		
						a	b	c
4	第2編 第一章	居住環境の整備	居住環境整備の基本理念を理解する。快適で安全な居住環境に求められるポイントを理解する。高齢者および障害者の住まいの状況について理解する。	受講カード 編末問題 定期考査 授業観察	6	1 2	1 1	1 1
5		家事の支援	家事支援の意義や目的、アセスメントの視点を理解し、自立に向けた家事支援について考察する。	受講カード 定期考査 実技テスト 授業観察	8	3	2	1
6		身じたくの支援	利用者の心身の状態および生活の状況に応じた整容、口腔ケア、衣類の着脱を学ぶことで身じたくの介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。	受講カード 定期考査 実技テスト 授業観察	10	3	2	1 2
7	第四章	移動の支援	介護に必要なボディメカニクスの理論から体位変換、車いすの介助、歩行介助、福祉用具を学ぶことで移動・移乗に関する基礎的な知識と技術を習得する。	受講カード 定期考査 実技テスト 授業観察	10	2 3	2	1 2
9		食事の支援	食事の過程を理解し、誤嚥や窒息の防止、脱水の予防といった安全面での留意点を学ぶことで食事の介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。	受講カード 定期考査 実技テスト 授業観察	8	3	2	1
10		入浴・清潔保持における介護技術	利用者の心身の状態および生活の状況に応じた入浴・清潔保持の介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。	受講カード 定期考査 授業観察	10	2	2	1 2
11	第五章							
12								

1	第七章	排せつにおける介護技術	利用者的心身および生活の状況に応じてトイレ、ポータブルトイレ、おむつを使用した排せつの介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。あわせて排せつ機能障害時の対応についても基礎的な知識と技術を習得する。	受講カード 定期考查 授業観察	8	2	2	1 2
2	第八章	睡眠・休養の支援	睡眠・休養の支援にかかる基本的知識について理解する。	受講カード 定期考查 授業観察	10	2	2	1 2

5 評価規準一覧

観点	番号	評価計画 (具体的評価規準【B規準】)
a	1 2 3	利用者の生活、尊厳を重視した生活支援のあり方について必要な知識を身に付けています。 利用者と関わる上で必要な基本的、総合的な介護に関する理論について理解し、知識として身に付けています。 日常生活の中で起こる介護の具体的な場面を想定し、利用者の立場を重視した適切かつ安全な介護技術を正しく実践に移すことができる。
b	1 2	介護の専門職を目指す者として、利用者の尊厳を重視した生活支援のあり方を考え、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けようとしている。 ICFの視点に基づき、利用者的心身の状態や状況に応じた望ましい介護のあり方を考え、的確に表現しようとしている。
c	1 2	利用者の尊厳を重視した生活支援に関心を持ち、ICFの視点によるアセスメントの方法を意欲的に学ぶ態度を身に付けています。 利用者の尊厳を重視した生活支援に対する介護に関心を持ち、必要な技術を意欲的に学ぶ態度を身に付けています。